

こんしゅう めい れい
今週のことは「命令」

せいしゅ ふくいんしゅ
《聖書》マタイによる福音書 5:17-37

めいれい かんが ば あい だれ めい
命令について考えていく場合、誰の命
れい こと もんだい
令かという事が問題になってきます。こ
かみ めいれい い こと かんたん
れは神の命令だと言う事は簡単です。し
めいれい めいれい い
かし、その命令がどうして命令として言
つた り かい
い伝えられるようになったのかを理解す
こと ほね お こと めい
る事は、なかなか骨の折れる事です。命
れい い つた なに い
令として言い伝えられるからには何か意
み めいれい い
味があるはずです。もし、その命令の意
み かんが めいれい まも
味も考えずに、ただこれは命令だから守
い
りなさいと言ったら、どうなるでしょう
ひと ひと
か。人におこられないためとか、人に
み めいれい まも
見られるために命令を守るようになって
だれ み
しまいます。つまり、誰も見ていないと
めいれい まも
命令を守ろうとしなくなります。
せいしゅ めいれい か
聖書にはたくさんの命令が書かれてい
せいしゅ か めいれい かぞ
ます。聖書に書かれた命令だけでも教え
じ だい
きれなくらいあるのに、イエスの時代
さら めいれい まも めいれい
には、更に命令を守るための命令がたく
つく せんもん
さん作られていました。ですから、専門
か べんきょう こま てん
家として勉強しないかぎり細かい点につ
わ
いてはとうてい分かりませんでした。
いま わたし じ だい
今の私たちにとって、イエスの時代の

めいれい か しゅうかん
命令に替わるものとして習慣があります。
しゅうかん ばしゅ じ だい ちが
習慣は場所や時代によってそれぞれ違
しゅうかん かなら い
うものです。習慣になっているから必ず意
み しゅう
味があるわけでもありません。これは習
かん かなら まも
慣だから必ず守らなくてはいけないのだ
かんが かつ じ だい りっぽうがく
という考え方は、イエスの時代の律法学
しや おな かんが
者と同じ考えになってしまいます。
きょうかい なか しゅうかん こと
教会の中でも、習慣だからという事で
めいれい つた
たくさんの命令が伝えられています。し
まも しんじゃ
かも、それを守らないと信者ではないと
おも こ ひと たし
思い込んでいる人もたくさんいます。確
しゅうかん ひつよう こと
かに、習慣は必要な事です。しかし、そ
い み かんが まも こと おそ
の意味すら考えずに守ろうとする事は恐
こと
ろしい事です。
だいいしゅうかん まも こと ちち
代々習慣として守られてきた事は、日
じゅうせいかつ か
常生活に欠かせないものになっています。
い しゅうかん まも
だからと言って、習慣だけを守っていれ
い まも
ばよいとは言えません。できれば、守ら
い み り かい いま じ だい
れてきた意味を理解し、もし今の時代に
あ しゅうかん か
合わないものならば、その習慣を変えて
どりょく しゅうかん
いく努力もしなくてはなりません。習慣
じ だい じ だい ひと どりょく
はその時代時代の人たちの努力によって
つく
作られてきたものです。

ねんかん だい しゅじつ ねん たきの
年間第6主日A年(滝野)